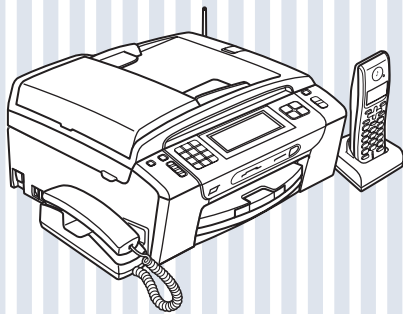
brother

MYMIO

MFC-735CD/CDW
MFC-935CDN/CDWN
かんたん設置ガイド
－基本編－

はじめにお読みください

本製品をネットワークに接続してご使用になるときは、引き続き「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をお読みください。

設置が終わったら「ユーザーズガイド 基本編」をご覧ください。

Step 1
設置・接続する

Step 2
パソコンに接続する

USB接続

Windows®

Macintosh

付録

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 別冊のユーザーズガイド 基本編 第8章「こんなときは」で調べる

2

ブラザーのサポートサイト
にアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

サポートサイト

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version B JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』(基本編(本書)/ネットワーク編)をご覧いただき設置および接続が終了したら、別冊の『ユーザーズガイド 基本編』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド 基本編
- ・設置する
- ・パソコンへの接続
- ・ドライバ、ソフトウェアのインストール

■かんたん設置ガイド ネットワーク編
(MFC-935CDN/935CDWNのみ)
- ・ネットワークへの接続
- ・ドライバ、ソフトウェアのインストール

電話/ファクス/コピーの使い方を知りたい

■ユーザーズガイド 基本編
- ・電話をかける
- ・ファクスを送る
- ・コピーする
- ・デジタルカメラからプリントする
- ・トラブル対処/お手入れ方法
- ・消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます。

HTML(CD-ROM)

画面で見るマニュアル(HTML形式)

ユーザーズガイドの内容は、付属のCD-ROMに収録されている画面で見るマニュアル(HTML形式)からも閲覧できます。

基本編	応用編	ネットワーク設定編
・電話の使用方法 ・ファクス/プリンタ/コピーの使用方法 ・デジタルカメラからプリント ・トラブル対処/お手入れ方法 ・消耗品や部品の交換	・プリンタとして使う ・スキャナとして使う ・パソコンからファクスを送受信する ・ Control Centerで便利に使う	(MFC-935CDN/935CDWNのみ) ・ LANにつないで使う ・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルを見たいときは、つぎの手順で操作します。

Windows® の場合

パソコンにドライバをインストールすると「画面で見るマニュアル(HTML形式)」のショートカット がデスクトップに作成されます。 をクリックすると、画面で見るマニュアルが閲覧できます。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする

◆画面で見るマニュアル(HTML形式)が表示されます。

最新版のマニュアルが、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)(http://solutions.brother.co.jp/)からダウンロードできます。

PDF

■ユーザーズガイド
- 基本編
- 応用編
- ネットワーク設定編
(MFC-935CDN/935CDWNのみ)

■かんたん設置ガイド
- 基本編
- ネットワーク編
(MFC-935CDN/935CDWNのみ)

最新のドライバや、ファームウェア(本体ソフトウェア)を入手するときは?

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア(本体ソフトウェア)を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバやファームウェアは、弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。
http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、『ユーザーズガイド 基本編』の「最新のドライバやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

本書のみかた

本書で使用されている記号

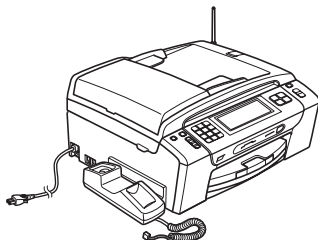
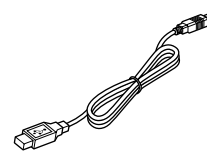
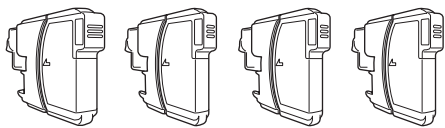
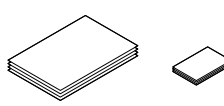
本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(メモアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印)	本書内での参照先を記載しています。

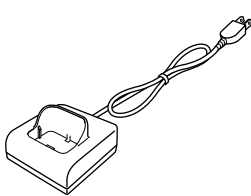
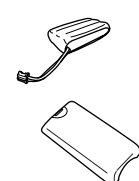
注意

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-935CDN のイラストを使用しています。

本書で対象となる製品

本書は MFC-735CD/735CDW、MFC-935CDN/935CDWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

1 付属品の確認と保護部材の取り外し

付属品を確認する

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）」にご連絡ください。

本体		受話器 / 受話器台外し口カバー	USB ケーブル
初期インクカートリッジ（4 個）※		A4 記録紙（普通紙） L 判記録紙（光沢紙）	電話機コード
かんたん設置ガイド 基本編（本書）	かんたん設置ガイド ネットワーク編 （MFC-935CDN/935CDWN のみ）	ユーザーズガイド 基本編	CD-ROM

※ お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ず初期インクカートリッジをご使用ください。

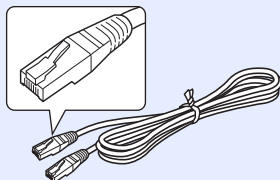
● 子機 / 子機の付属品　※ MFC-735CDW、MFC-935CDWN には、2 台の子機、子機の付属品が同梱されています。

子機	子機充電器	子機用バッテリー 子機用バッテリーカバー（各 1 個）

注意

■ LAN ケーブルについて

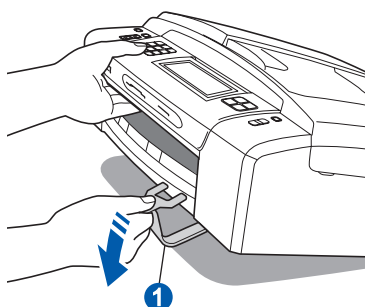
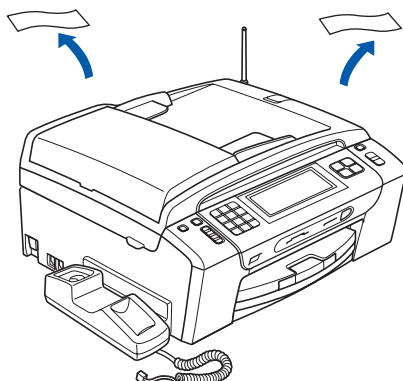
MFC-935CDN/935CDWN はネットワークに接続してご使用になれます。ネットワークに接続する LAN ケーブルは同梱されておりません。有線 LAN 環境でご使用になる場合は、カテゴリ 5（100BASE-TX 用）のストレートケーブルをお買い求めください。

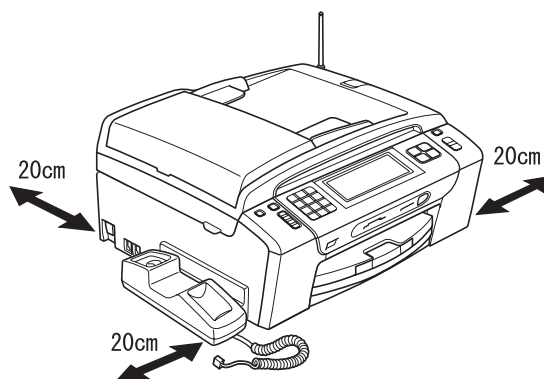
※ MFC-735CD/735CDW はネットワーク接続には対応していません。

保護部材を取り外す

製品を取り出したら、テープや保護部材を取り外します。梱包用の箱や保護部材は輸送のときに使用しますので、廃棄せずに保管してください。

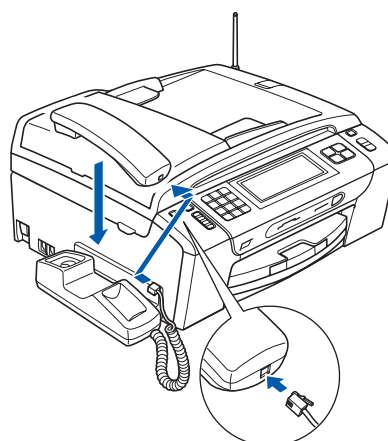
1 本製品から輸送用の保護部材や梱包材を取り除く

2 記録紙トレイを固定している保護部材❶を取り外す

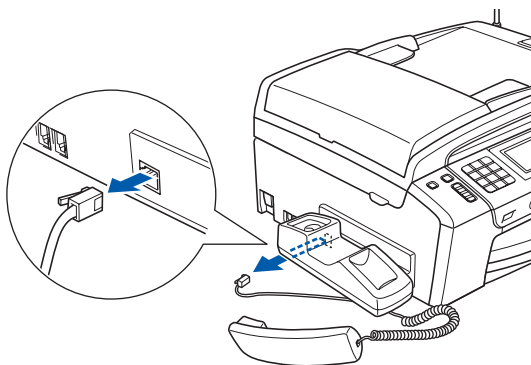
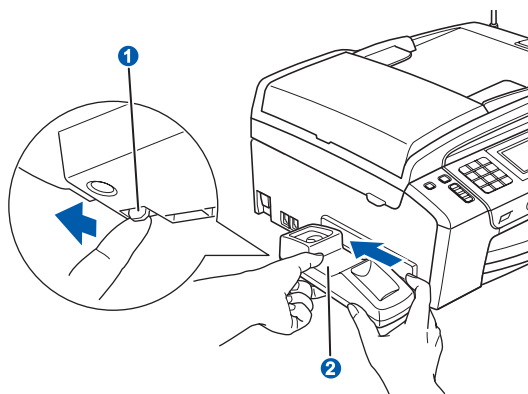
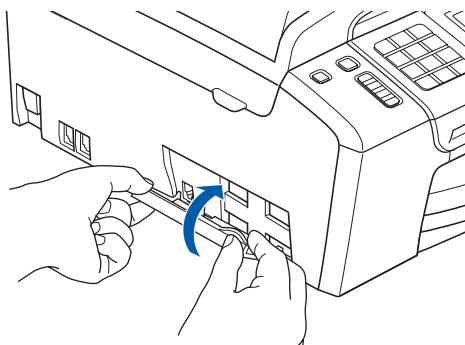
本製品の前面を上方向に持ち上げて傾け、保護部材を下に引き抜いてください。

3 本製品を固定しているテープやフィルムをすべてはがす

設置スペースを確認する

本製品を設置するときは、まわりに下記のスペースを確保してください。

受話器を取り付ける

受話器を取り付け、本製品に接続します。

1 受話器コードを受話器に接続して受話器台に置く

受話器台の取り外しかた

受話器をお使いにならない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

(1) **受話器コードを外す**

(2) **つまみ❶を手前に引き、受話器台を矢印の方向❷に外す**

(3) **受話器台外し口カバーをつける**

受話器台の取り付けかた

外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

(1) **受話器台外し口カバーを外して、本製品と受話器台の▲印を合わせて矢印の方向に引いて取り付ける**

受話器台外し口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。

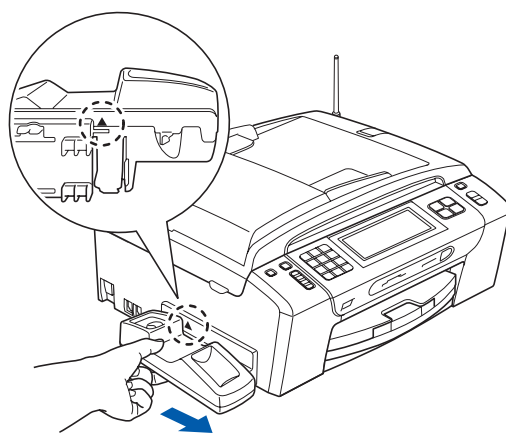
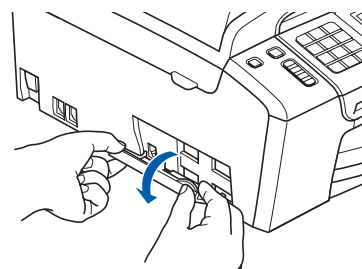
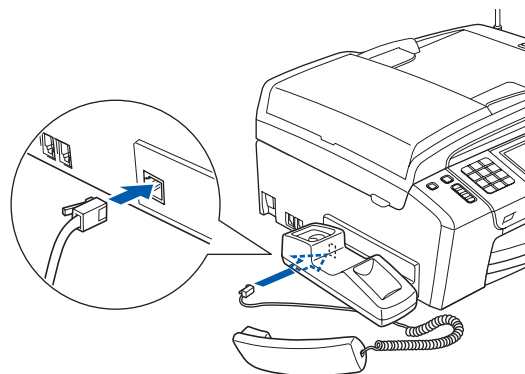
(2) **受話器コードを接続する**

設置・接続する

パソコンに接続する

Windows®

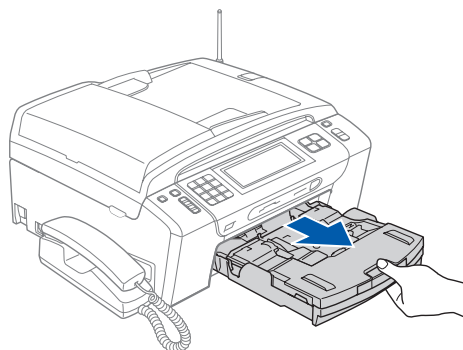
Macintosh

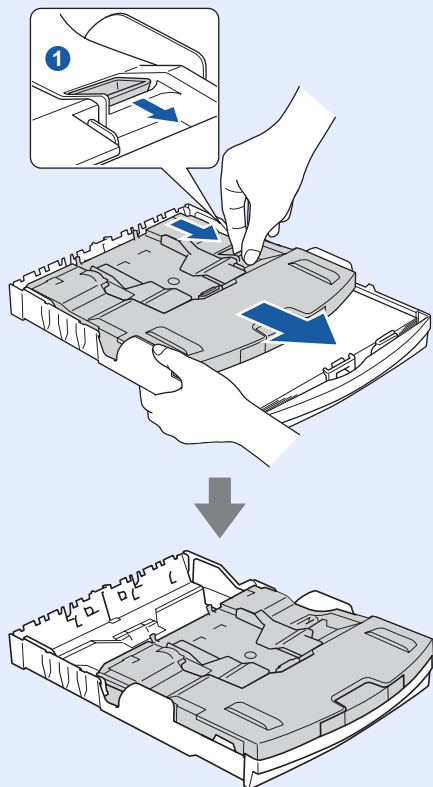
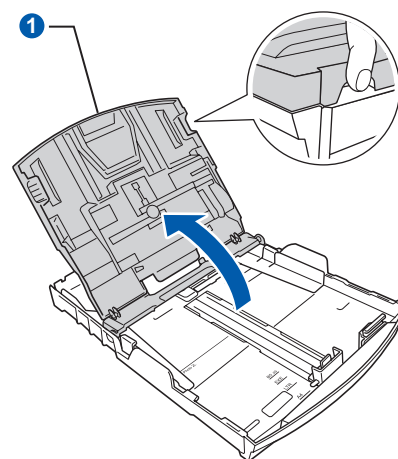
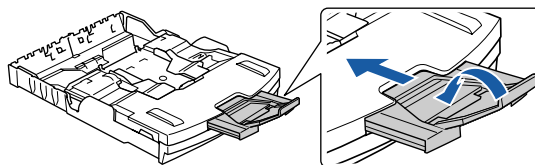
付録

2 用紙をセットする

「印刷テスト」を行うために、記録紙トレイに付属の記録紙（A4）をセットします。

記録紙トレイには、A4 サイズの紙を約 100 枚までセットできます。セットできる記録紙の詳細については、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編第 1 章「記録紙のセット」

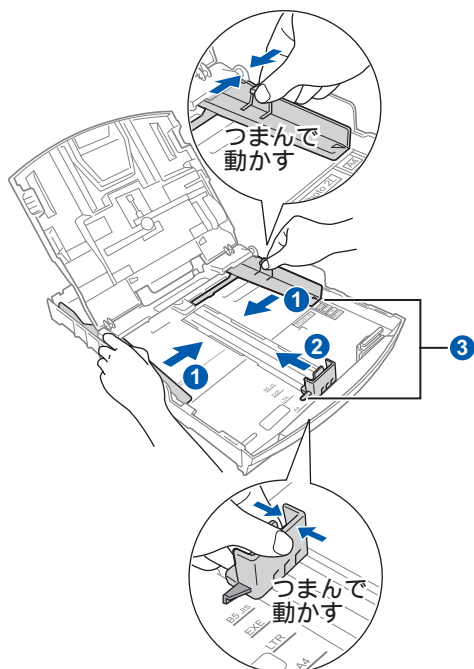
1 記録紙トレイを引き出す

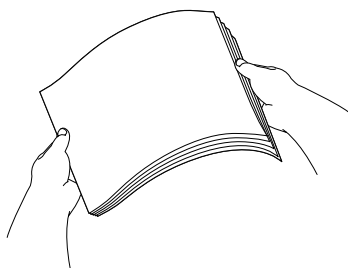
記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。

注意

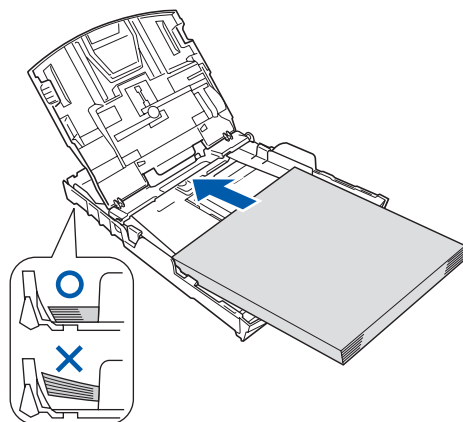
■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。
リリースボタン❶をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。

2 トレイカバー❶を開く

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開いてください。

⚠ 注意

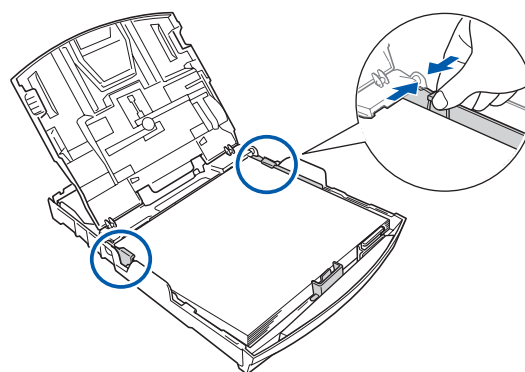
- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

❸ 幅のガイド❶と長さのガイド❷の△の目印❸を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

❹ 記録紙をさばく

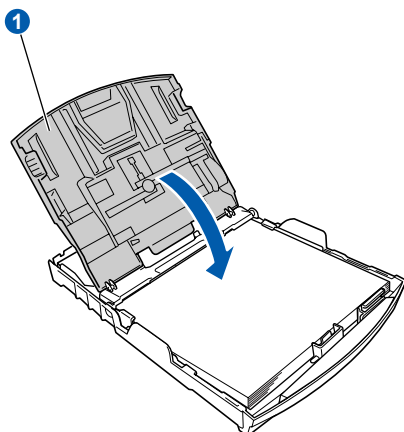
紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。
記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

❺ 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

❻ 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる

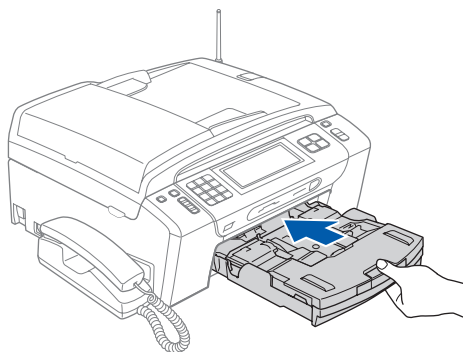
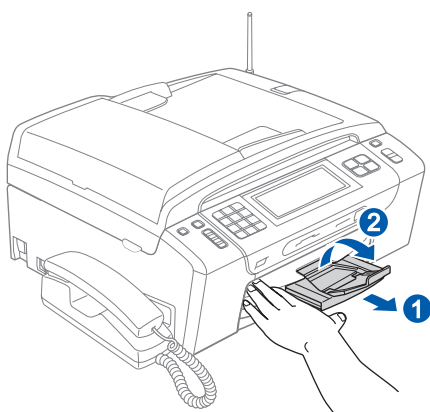
⚠ 注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

注意

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないようにご注意ください。記録紙が浮いたり、傾いたりして、うまく給紙されない場合があります。

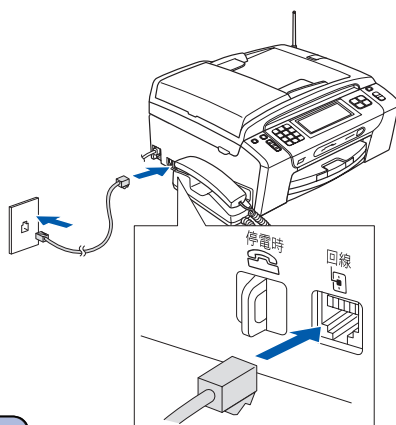
7 トレイカバー❶を閉じる

8 記録紙トレイを元に戻す

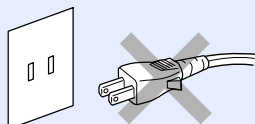
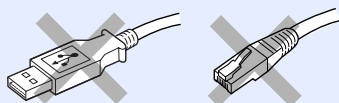
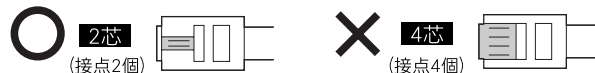
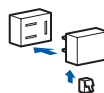
記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

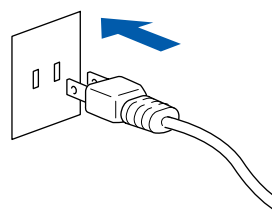
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し❶、フラップを開く❷

3 接続する

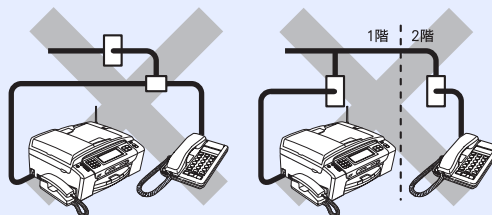
注意

- ■ 以下に示す接続方法は一例です。間違った接続は他の機器に悪影響を与える可能性があります。以下に示す接続方法以外の接続をしたいときは、販売店にご相談ください。
- ■ お使いの電話回線にすでに何台かの電話機が接続されている場合は、本製品がご使用になれない場合があります。この場合は、配線工事が必要となります。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取り付け工事を行った販売店またはご利用の電話会社にご相談ください。
- ■ お使いの回線が ADSL・ISDN・ホームテレホン・ひかり電話などの場合は、「いろいろな接続」をご覧ください。
⇒ 24 ページ「いろいろな接続」
- ■ 電話機コードを接続しても、電話着信以外の機能はご使用になれません。その他の機能を使うためには、必ず「Step1 設置・接続する」のすべての設定を完了させてください。
- ■ 本製品は、2 つ以上の回線を同時に接続することはできません。
- ■ 本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。

1 付属の電話機コードを本製品側面の「回線」接続端子と壁側の電話機コード差し込み口に差し込む

注意

- ■ 電源はまだ入れないでください。先に電話機コードから接続します。

- ■ ここではまだパソコンと接続しません。USB ケーブルや LAN ケーブルは接続しないでください。

付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6 極 2 芯の電話機コードをお使いください。6 極 4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。

3 ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

注意

- ■ **ブランチ接続（並列接続）はしないでください。**
ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
  - ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
  - 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
  - コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
  - 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
  - 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
  - ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
  - パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。

「ブランチ接続（並列接続）」とは、一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

4 インクカートリッジを取り付ける

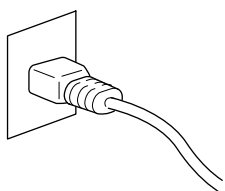
⚠ 注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

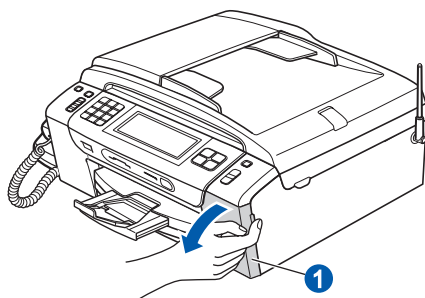
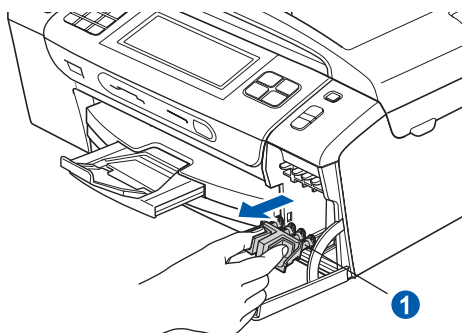
注意

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 画面の表示を確認する

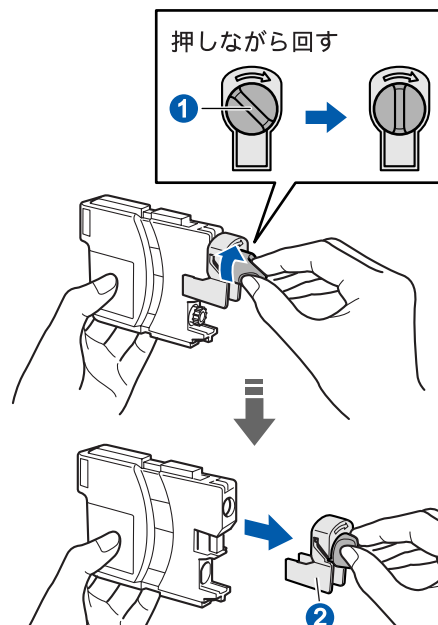
画面には【カートリッジがありません】と表示されています。

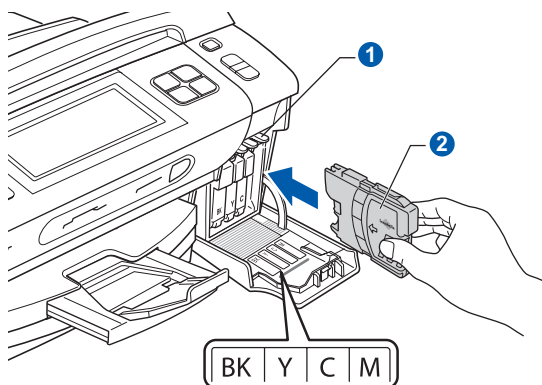
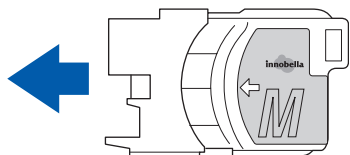
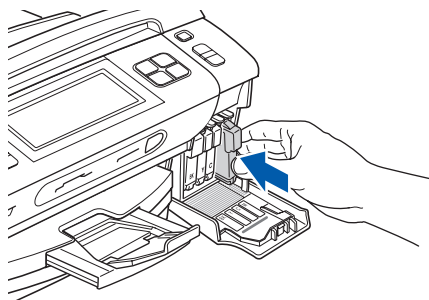
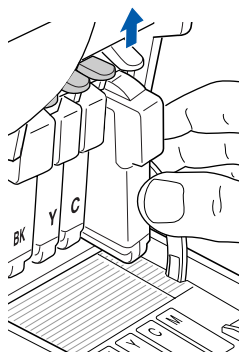
3 インクカバー❶を開く

4 インク挿入口にセットされている緑色の保護部材❶を取り出す

注意

■ 保護部材は捨てないでください。本製品を輸送するときに必要です。

5 インクカートリッジを準備する

付属の初期インクカートリッジを開封します。
お買い上げ後はじめてインクカートリッジを取り付けるときは、必ず初期インクカートリッジをご使用ください。

6 インクカートリッジの緑色のつまみ❶を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ❷を引き抜く

7 インクカートリッジを取り付ける

リリースレバーの色 1 と、インクカートリッジの色 2 を合わせてください。

インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

8 インクカートリッジを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているか確認します。

注意

- インクカートリッジを振らないでください。皮膚や服に付いた場合は、すぐに石けんや洗剤などで洗い流してください。
- インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

注意

- インクカートリッジは交換時以外には取り外さないでください。インクの量が減り、本製品がインクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- インクカートリッジの取り付け、取り外しを繰り返さないでください。インクカートリッジからインクが漏れることがあります。
- 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。プリントヘッドのクリーニング方法は、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編第 8 章「印刷が汚いときは」－「プリントヘッドをクリーニングする」
- 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の場合でも、パッケージに記載された有効期限以内に使用してください。
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

9 インクカバーを閉じる

自動的に約 4 分間、プリントヘッドのクリーニングが行われます。

クリーニングを行う音がしますが、異常ではありませんので、電源を切らないでください。

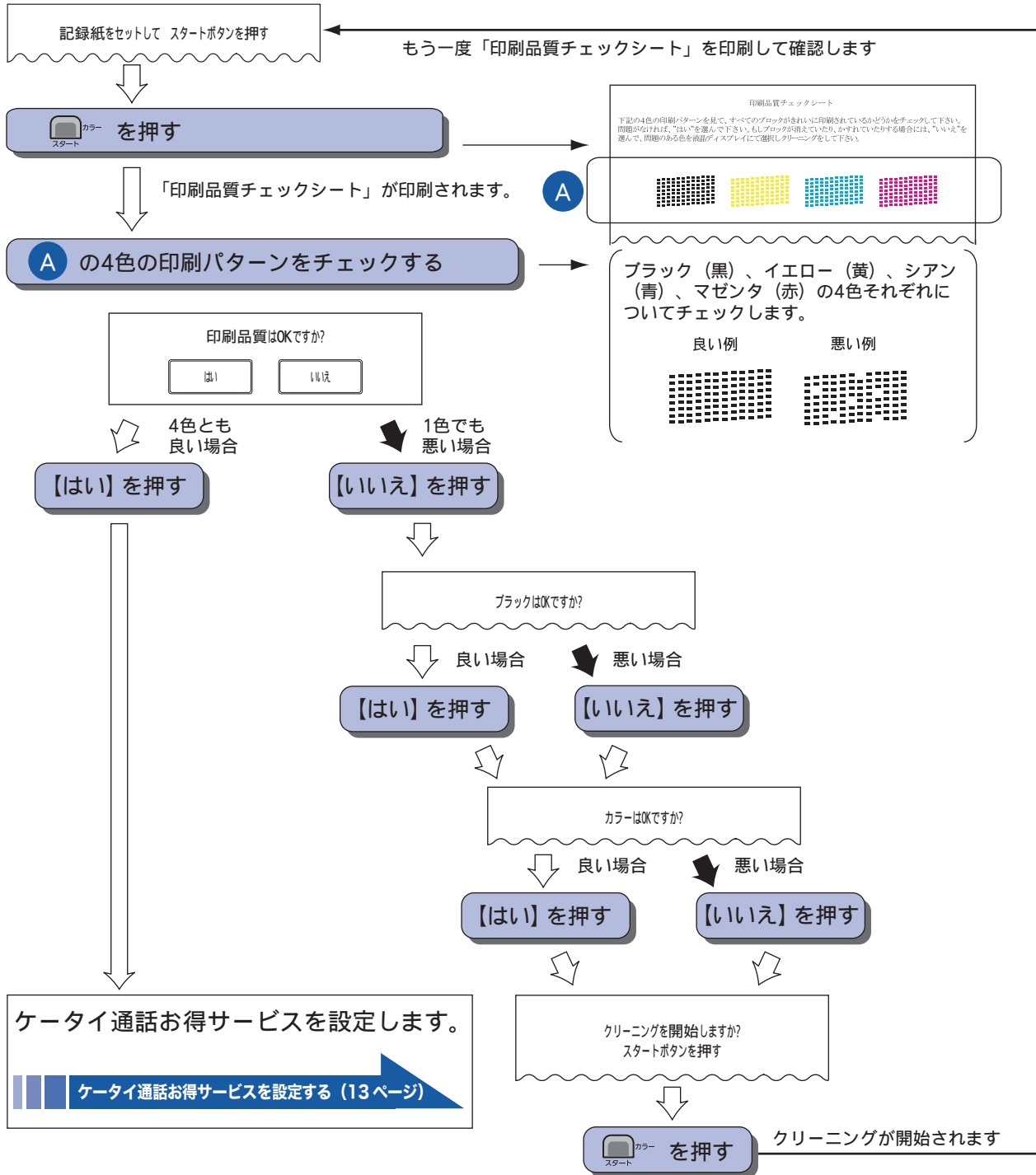
【カートリッジがありません】と表示された場合は、インクカートリッジが正しくセットされていません。手順 7 または に戻り、インクカートリッジをセットし直してください。

プリントヘッドのクリーニングが終わると、【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。

引き続き、印刷テストへ進みます。

印刷テストをする（12 ページ）

5 印刷テストをする

プリントヘッドのクリーニングが終わると、画面に【記録紙をセットして　スタートボタンを押す】と表示されます。
以下の手順に従って、印刷品質のチェックを行います。

- クリーニングを繰り返しても印刷品質が悪い場合は、3～5時間放置したあとで、再度「印刷品質チェックシート」を印刷してみてください。
- インクカートリッジをしっかり取り付けずに印刷テストをしてしまった場合、5回以上クリーニングを行わないと印刷品質が正常にならないことがあります。

6 ケータイ通話お得サービスを設定する

印刷テストが終わると、ケータイ通話お得サービスの利用を設定する画面が表示されます。

● ケータイ通話お得サービスとは

一般電話回線（固定電話）から携帯電話に電話をかけるとき、自動的に通話料金がお得な電話会社に接続する機能です。お買い上げ時は NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスに設定されています。本サービスの設定はあとからでも変更できます。（⇒ユーザーズガイド 基本編第 1 章「ケータイ通話お得サービスを利用する」）

1 画面の表示を確認して、【OK】を押す

画面には、【このファクシミリは NTT コミュニケーションズが提供する、自宅から携帯電話への通話料金がお得になる0033モバイルサービスがご利用いただけます。】と表示されています。

【ケータイ通話お得サービスを利用しますか ? ／する／しない】と表示されます。

2 利用する場合は、【する】を押す 利用しない場合は、【しない】を押す

ひかり電話サービスや直収電話サービスをご利用の場合も【しない】を押します。利用しない場合は、自動的に回線種別の設定が始まります。

⇒ 14 ページ「回線種別を確認する」へ

● ケータイ通話お得サービスをご利用できる電話回線

- NTT 東日本・西日本の一般電話回線（固定電話）を使用しているお客様。
- NTT 東日本・西日本の一般電話回線（固定電話）を使用し、ADSL サービスを契約されて IP 電話サービスをご利用のお客様。

● ケータイ通話お得サービスをご利用できない電話回線

NTT 東日本・西日本のひかり電話、ソフトバンクテレコムの BB フォン光・おとくライン、KDDI のひかり one・メタルプラス、Yahoo! BB 光、その他事業者のすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービス、などで電話を使用しているお客様はご利用になれません。

3 電話回線を選ぶ

- 【一般回線】：一般回線をお使いの場合に選びます。⇒ 14 ページ「回線種別を確認する」へ
- 【IP 電話】：IP 電話をお使いの場合に選びます。⇒手順 4 へ
- 【ひかり電話／その他】：この場合は、ケータイ通話お得サービスをご利用できません。⇒ 14 ページ「回線種別を確認する」へ

4 メッセージを確認して、【OK】押す

5 「IP 電話解除番号は分かりますか ?」と表示された画面で、【はい】を押す

6 IP 電話解除番号を入力して、OK を押す

画面に表示されているテンキーで番号を入力します。
（操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。）

IP 電話解除番号の例（2009 年 5 月 1 日現在）

事業者名	サービス名	IP 電話解除番号
Yahoo! BB（ソフトバンク BB）	Yahoo! BB フォン（*1）	0000p（*2）
OCN（NTT コミュニケーションズ）	OCN ドットフォン（*1）	0000
KDDI（DION）	KDDI － IP 電話（*1）	0009（*3）

- その他の IP 電話サービスをご利用のお客様は、ご利用中の IP 電話事業者に IP 電話解除番号とポーズ入力「p」（ポーズ で入力）が必要かお問い合わせください。
- IP 電話解除番号は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

*1 Yahoo! BB 光、OCN 光サービス、KDDI メタルプラスはご利用になれません。
*2 Yahoo! BB をご利用の場合は「0000」のあとにポーズ「p」（ポーズ で入力）を入力してください。
*3「IP 電話対応機器（NTT 東日本・西日本提供）」をご利用の場合は「0000」を入力してください。

注意

- ■ 携帯電話への発信ができなくなる場合があるので、IP 電話解除番号が正しく入力されていることを確認してください。
- ■ マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- ■ ひかり電話や直収電話サービスをご利用の場合は、この機能は利用できません。

IP 電話解除番号を空白にしたまま設定するとケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。

IP 電話解除番号は、携帯電話に発信するときだけ IP 電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

7 【はい】を押す

IP 電話解除番号を修正するときは【いいえ】を押して入力し直してください。

自動的に、回線種別の設定が始まります。

携帯電話以外への通常の発信は、IP 電話サービスを利用します。

ケータイ通話お得サービスは、以下の場合も利用できます。

- 「184」「186」などの番号を付けたとき（「184」をつけて非通知で電話をかけると、携帯電話に電話番号は表示されません。）
- 再ダイヤル、発信履歴からかけ直すとき（事業者識別番号は画面に表示されません）
- 電話帳からかけるとき
- 着信履歴からかけ直すとき（ナンバー・ディスプレイ利用時のみ）

ケータイ通話お得サービスを設定していても、一時的にケータイ通話お得サービスを利用しない場合は、通話状態にしてから【キャッチ】を押したあとにダイヤルしてください。

7 回線種別を確認する

回線種別を確認します。

ケータイ通話お得サービスの設定が終わると、回線種別の自動設定が始まります。

自動設定が終わると、設定された回線種別が 2 秒間、画面に表示されます。

- 【プッシュ回線です】
- 【ダイヤル 20PPS です】
- 【設定できませんでした】※

※【設定できませんでした】と表示されたときは

電話機コードが正しく接続されていない可能性があります。画面の指示に従って、電話機コードを正しく接続してください。
⇒ 9 ページ「接続する」
電話機コードを接続しない場合は、停止/終了 を押したあと、画面のメッセージを確認して【はい】を押してください。

正しく接続しないまま 5 分以上経過すると、回線種別は【ダイヤル 20PPS】（ダイヤル 20PPS 回線）に設定されます。

回線種別の設定が終わると、日付と時刻を設定する画面が表示されます。

日付と時刻の設定・接続状態の確認（15 ページ）

注意

■ 下記の場合には、本製品が自動で正しく回線種別を設定できないことがあります。

- ダイヤル 10PPS 回線をご利用の場合
- ひかり電話 / IP 電話 / 直収電話サービスをご利用の場合
- 構内交換機（PBX）が接続されている場合

引き続き［時計セット］に進み、日付と時刻の設定を終えたあと、接続状態の確認を行って正しく設定できたかどうかを確認してください。接続できていない場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 15 ページ「日付と時刻の設定・接続状態の確認」
⇒ 14 ページ「手動で回線種別を設定する」

手動で回線種別を設定する

(1) **【メニュー】を押す**

(2) **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

(3) **【回線種別設定】を押す**

(4) **回線種別を選ぶ**

- 回線種別がわからないときは、「ダイヤル 20PPS」「プッシュ回線」「ダイヤル 10PPS」の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、「プッシュ回線」に設定してください。

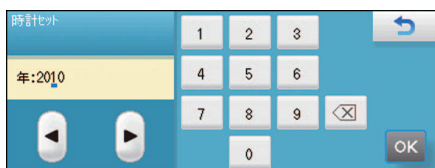
(5) **停止/終了 を押す**

8 日付と時刻の設定・接続状態の確認

日付と時刻を設定する

［時計セット］

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 以下の画面が表示されていることを確認する

2 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を入力し、OK を押す

例：2009 年の場合は、0 9 を押します。

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。
>
> 日付や時刻を間違って入力したときは、⌫ を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

3 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で入力し、OK を押す

例：01 月の場合は、0 1 を押します。

日付の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で入力し、OK を押す

例：21 日の場合は、2 1 を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、OK を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、
1 2 4 5 を押します。

設定が終わり、画面に日付と時刻が表示されます。

> 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

接続状態を確認する

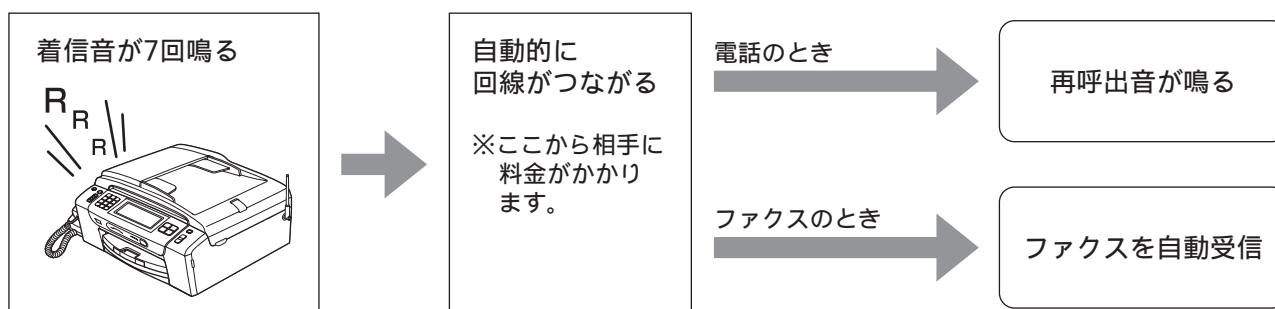
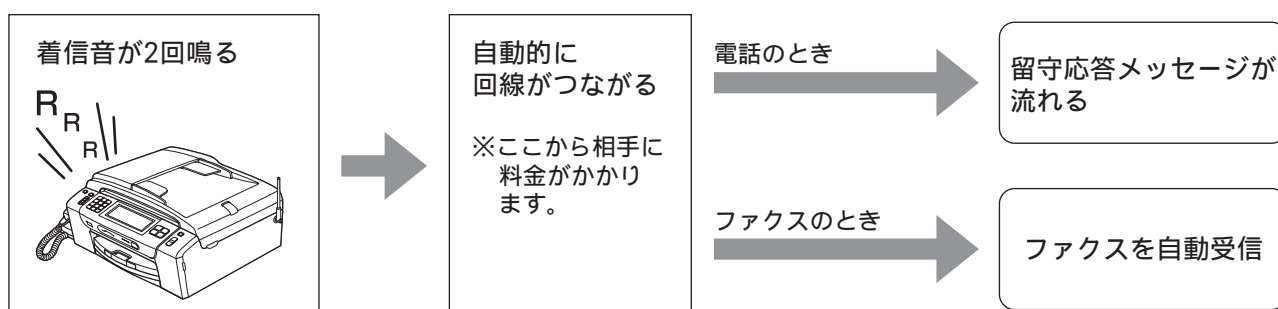
電話がつながるかを確認します。

- 「177」(天気予報:有料) などにつながるかご確認ください。電話がつながらない場合は、手動で回線種別を設定してください。
  ⇒ 14 ページ「手動で回線種別を設定する」
- ご自分の携帯電話に電話がつながるかご確認ください。電話がつながらない場合は、設定内容を確認してください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編第 8 章「こんなときは」

9 ファクスの受信方法を設定する

電話・ファクスの受けかた（お買い上げ時）

お買い上げ時は、以下のように設定されています。

家にいるとき（在宅モード：留守 が消灯しているとき）

留守にするとき（留守モード：留守 が点灯しているとき）

着信音の回数を設定する

(1) 【メニュー】を押す

(2) 【ファクス / 電話】を押す

(3) 【受信設定】を押す

(4) 【呼出回数】を押す

(5) 呼出回数を設定するモードを選ぶ

(6) 呼出回数を選ぶ

在宅モードの場合は、0 ～ 15 回、または【無制限】を、留守モードの場合は、0 ～ 7 回、または【トールセーバー】を選びます。
目的の呼出回数が表示されていない場合は、◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせます。

(7) 停止/終了 を押す

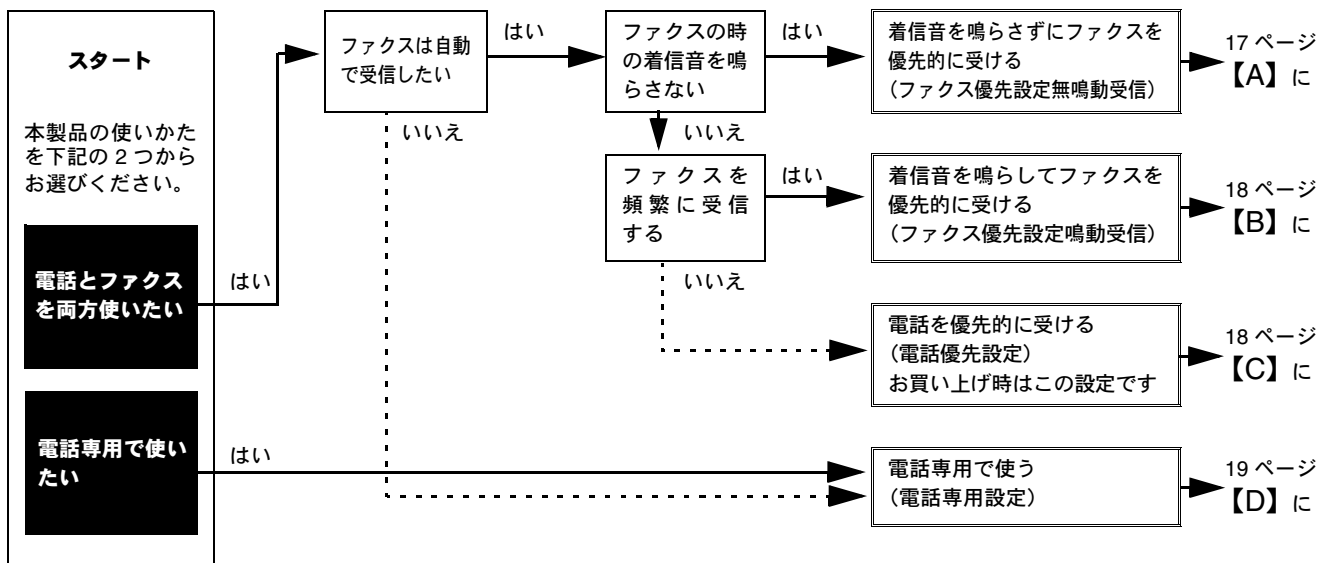
着信音を鳴らさずにファクスを受けたり、ファクス専用として使うこともできます。

電話・ファクスの受けかたを変更する（17 ページ）

ファクスの受信方法を設定したら、「ファクスの見かたを選ぶ」に進みます。

ファクスの見かたを選ぶ（20 ページ）

電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受けかたを、変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。

※ ファクス専用で使用したい場合や、留守モードの設定を変更するには、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編第 1 章「電話とファクスの受信設定」－「電話・ファクスの受けかたを変更する」

【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

【ファクス無鳴動受信】を設定します。呼出回数は 0 回、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒）】に設定されます。

(1) 【メニュー】を押す
(2) 【ファクス / 電話】を押す
(3) 【受信設定】を押す
(4) 【ファクス無鳴動受信】を押す
【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し、電話のときは再呼出音が鳴る設定にします。／する／しない】と表示されます。
(5) 【する】を押す
呼出回数が【0】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒）】になり、ファクス優先無鳴動受信が設定されます。
【しない】を押すと、呼出回数が【7】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒）】になります。
(6) 停止/終了 を押す

設置・接続する
パソコンに接続する
Windows®
Macintosh
付録

【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

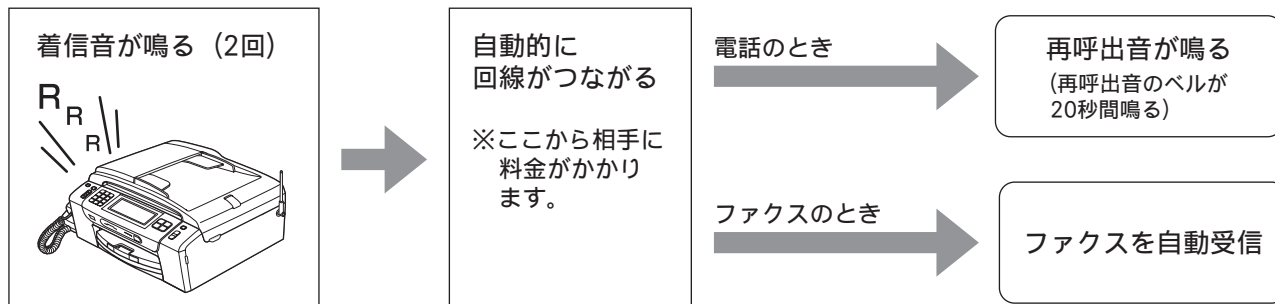
着信音の呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
例：着信音の呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：20 秒）】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）
RRR

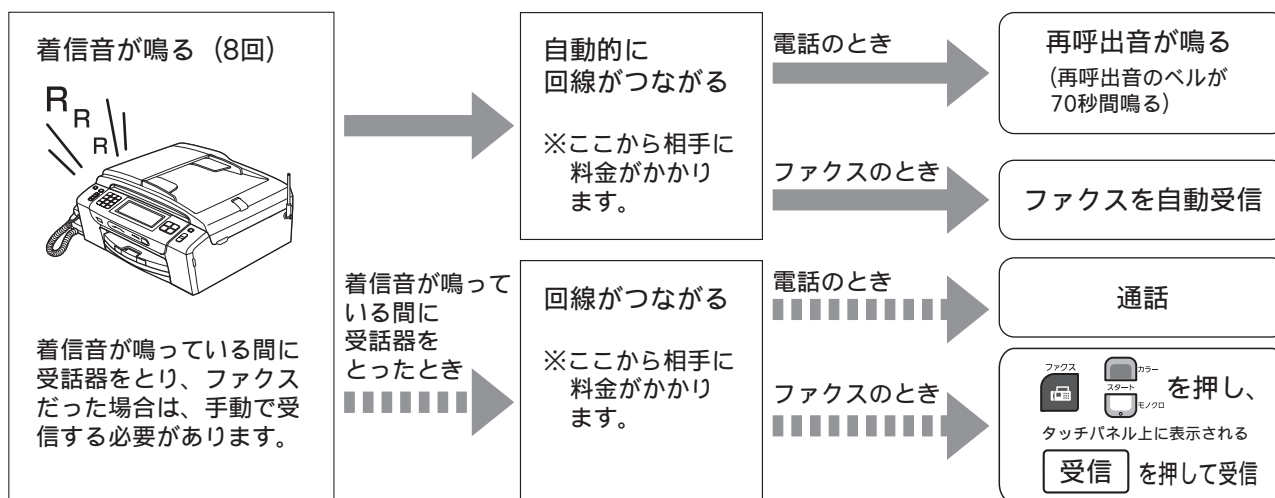
自動的に
回線がつながる

※ここから相手に
料金がかかり
ます。

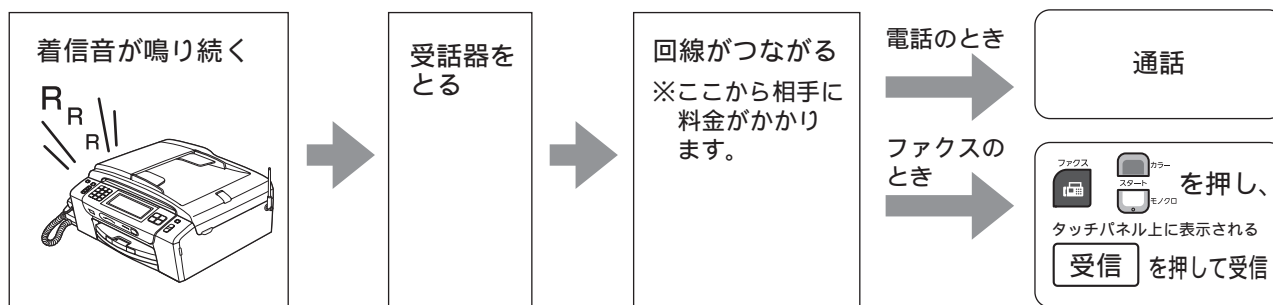
電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが20秒間鳴る）

ファクスのとき → ファクスを自動受信

(1) 【メニュー】を押す
(2) 【ファクス / 電話】を押す
(3) 【受信設定】を押す
(4) 【呼出回数】を押す
(5) 【在宅モード】を選ぶ
(6) 【1】または【2】を押す
(7) ⮌ を押す
(8) 【再呼出設定】を押す
(9) 【オン】を押す
(10)【相手にベル】を押す
(11)【20 秒】を押す
(12) 停止 / 終了 を押す

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信音の呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
例：着信音の呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：70 秒）】に設定した場合

(1) 【メニュー】を押す
(2) 【ファクス / 電話】を押す
(3) 【受信設定】を押す
(4) 【呼出回数】を押す
(5) 【在宅モード】を選ぶ
(6) 【8】～【15】のいずれかを押す
(7) ⮌ を押す
(8) 【再呼出設定】を押す
(9) 【オン】を押す
(10)【相手にベル】を押す
(11)【70 秒】を押す
(12) 停止 / 終了 を押す

【D】電話専用として使う（電話専用設定）

着信音の呼出回数を無制限にします。ファクスのときは、手動で受信します。

(1) 【メニュー】を押す

(2) 【ファクス / 電話】を押す

(3) 【受信設定】を押す

(4) 【呼出回数】を押す

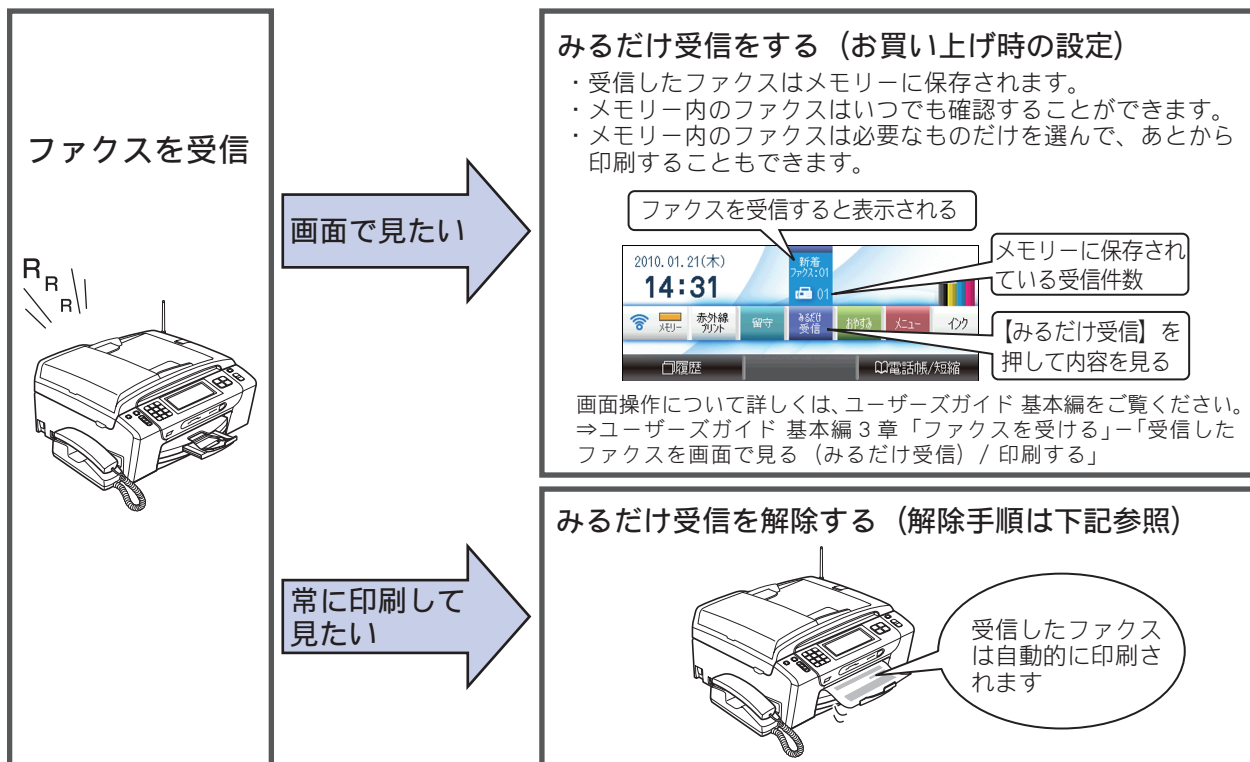
(5) 【在宅モード】を選ぶ

(6) 【無制限】を押す

(7) 停止/終了 を押す

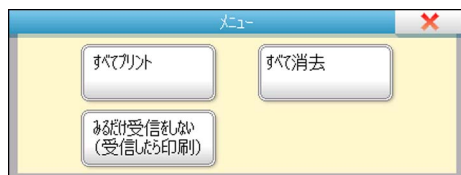
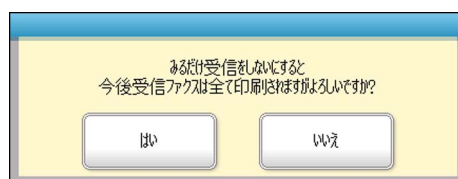
10 ファクスの見かたを選ぶ

受信したファクスの見かたを選ぶ

本製品にはファクスをメモリーに保存して画面で内容を確認することができる「みるだけ受信」機能があります。受信したファクスの見かたを以下の 2 つからお選びください。

みるだけ受信を解除する（ファクスを自動的に印刷して見る）

1 【みるだけ受信】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】を押す

4 メッセージを確認して、【はい】を押す

みるだけ受信が解除されます。

11 名前とファクス番号を登録する［発信元登録］

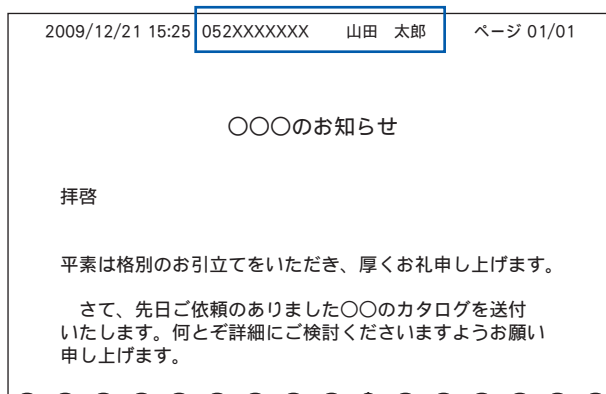
自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2009/12/21 15:25 052XXXXXXX 山田 太郎 ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、OK を押す

ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

名前の入力画面が表示されます。

5 名前を入力し、OK を押す

名前として入力できる文字数は 16 文字までです。

文字の入力方法については、ユーザーズガイド 基本編をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド 基本編付録「親機での文字の入れかた」

設定が有効になります。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) 【メニュー】を押す

(2) ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

(3) 【発信元登録】を押す

(4) ⌫ を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、OK を押す

(5) 停止/終了 を押す

設置・接続する

パソコンに接続する

Windows®

Macintosh

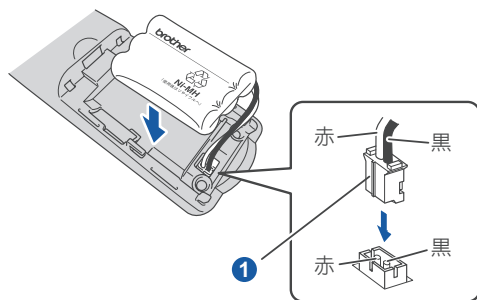
付録

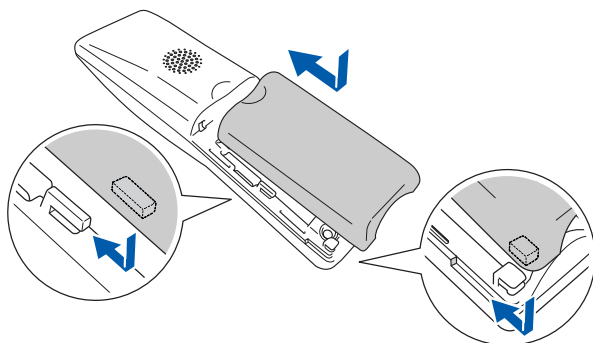
12 子機を準備する

バッテリーをセットする

注意

- ■ バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。
- ■ 子機のバッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約１年です。バッテリーはお買い上げの販売店またはご注文シートでお求めください。

1 下図の向きにコネクタ❶を差し込み、バッテリーをセットする

2 バッテリーカバーを閉じる

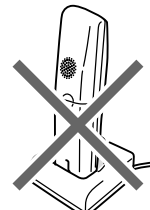
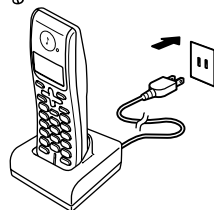
バッテリーコードを押し込みながら、スライドさせます。

子機を充電する

⚠ 注意

- ● 充電器の上に硬貨などの金属を置かないでください。熱くなることがあります。

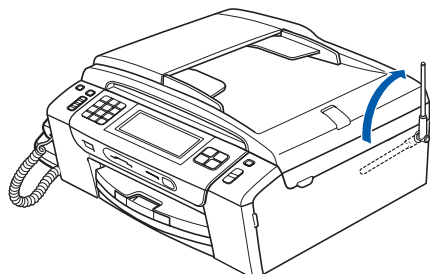
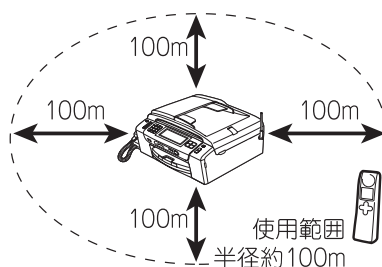
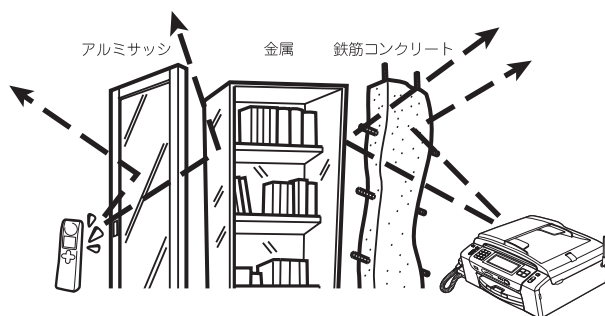
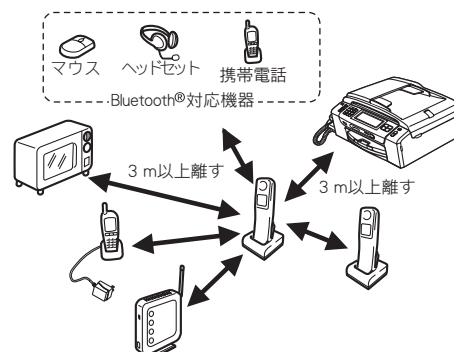
注意

- ■ はじめてお使いいただくときは、必ず12時間以上充電してください。
- ■ 子機の充電器の電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。
- ■ 子機を充電器にセットしないで長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

1 電源コードをコンセントに差し込み、子機をセットする

- 充電器に子機をセットすると画面に「ジュウデンチュウ」と表示され、[電池マーク] が点滅し、充電ランプが点灯します。
- バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジュウデンチュウ」と表示されなかったり、充電ランプが点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
- 充電が完了すると、画面に [電池マーク] が点灯し、「ジュウデンチュウ」の表示と充電ランプが消灯します。

子機の設置場所を確認する

子機を設置するときは以下のような点に注意してください。

- **親機のアンテナを立ててください。**
  アンテナを立てていないと、電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。

- **親機から障害物のない直線距離で約100m以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。**
  親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

- **親機、子機を電気製品（電子レンジ、無線 LAN 機器、Bluetooth® 対応製品、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプタ、OA 機器など）やセキュリティシステムから 3m 以上離して設置してください。**

- **子機は親機や他の子機から 3m 以上離して設置してください。**
- **本製品に他社の子機を増設することはできません。**

子機の日付・時刻を設定する

子機の日付と時刻を設定します。

1 機能確定 **を押す**

2 ✥ **で「トケイセッテイ」を選び、**機能確定 **を押す**

3 **日付を入力し、**機能確定 **または** ✥ **を押す**

例：2009 年 12 月 1 日の場合は、

0 9 1 2 0 1 機能確定 と押します。

4 **時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、**機能確定 **を押す**

例：午後 0 時 45 分の場合は、

1 2 4 5 機能確定 と押します。

5 切 **を押す**

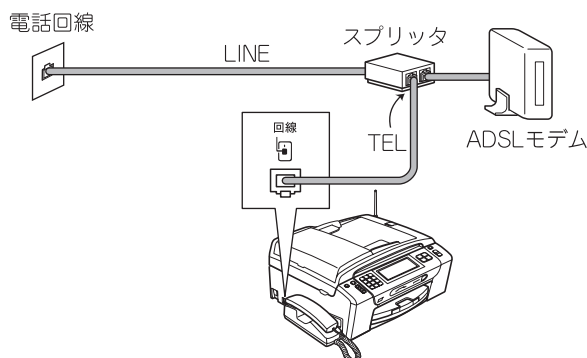
設定を終了します。

> 数字を入れ間違えたときは、✥ で間違えた箇所まで ■（カーソル）を移動し、入力し直してください。
>
> 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

設置・接続する
パソコンに接続する
Windows®
Macintosh
付録

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品を ADSL スプリッタの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。
スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

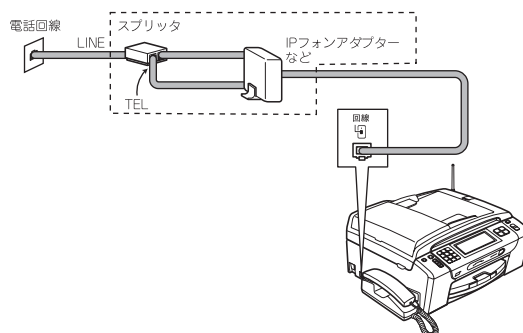
■ ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品と ADSL モデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 14 ページ「手動で回線種別を設定する」

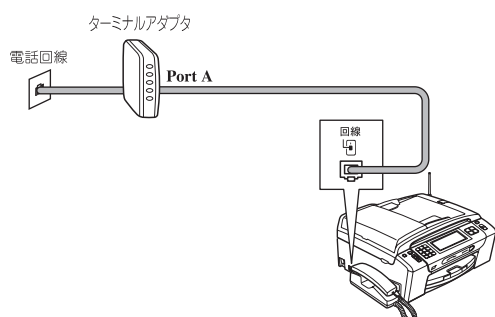
(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

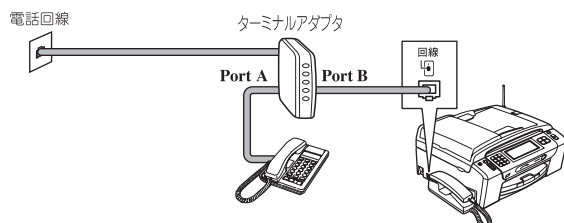
契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

ISDN をご利用の場合

本製品をISDN回線のターミナルアダプタに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
  回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプタ：
  本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

電話番号が 1 つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

電話番号が 2 つの場合

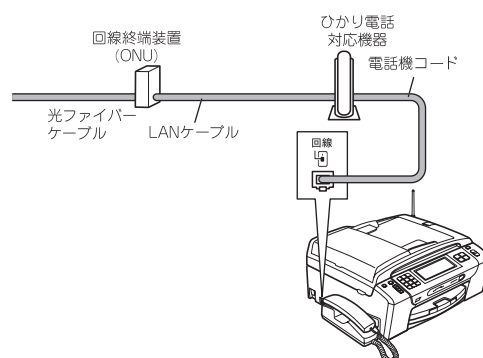
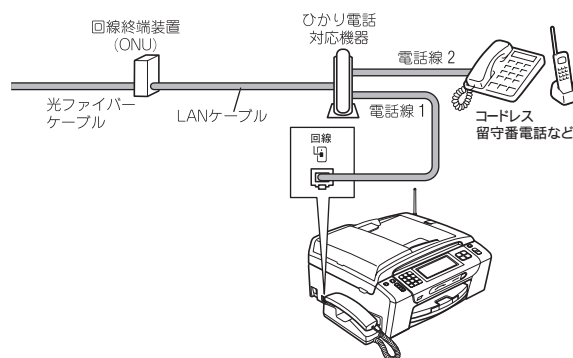
本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

詳しい設定については、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

注意

■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。
⇒ユーザーズガイド 基本編第 8 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本製品が使用できないときは、ユーザーズガイド 基本編の「故障かな ? と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。
⇒ユーザーズガイド 基本編第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」－「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

ひかり電話をご利用の場合

● ひかり電話で複数番号を使う場合

注意

■ ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
⇒ 14 ページ「手動で回線種別を設定する」

■ ひかり電話では、ケータイ通話お得サービスは使えません。

■ 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

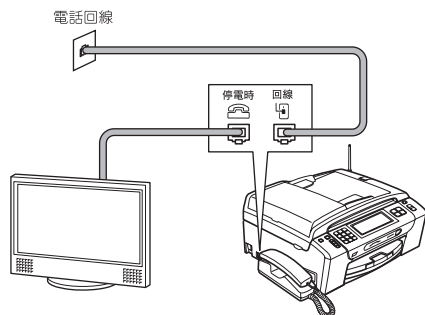
ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。

回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

デジタルテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、停電用電話機接続端子に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

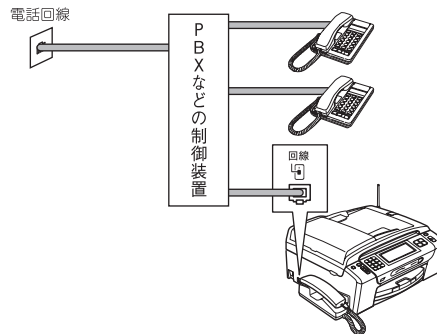
- 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
  ⇒14ページ「手動で回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編第 8 章「特別設定について」－「特別な回線に合わせて設定する」

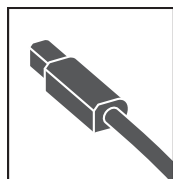
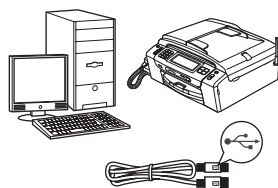
ホームテレホンとは

電話回線1、2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

ビジネスホンとは

電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

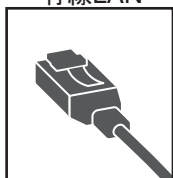
PBXなどの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 基本編第2章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」－「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

パソコンに接続する

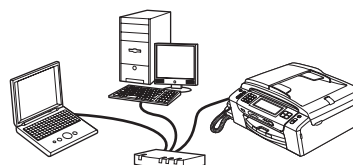
本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、ドライバや付属のソフトウェアなどをインストールする必要があります。また、ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容と、パソコンの動作環境（⇒ 38 ページ）を確認してください。

USB ケーブルで接続する

パソコンに直接本製品をつなぎます。

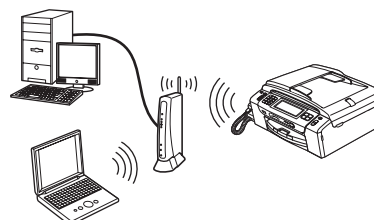
Windows® の場合　28 ページへ進む
Macintosh の場合　34 ページへ進む

MFC-935CDN/935CDWNは、有線LANまたは無線LANでもパソコンに接続できます。
ネットワークに接続してご使用になるときは、別冊「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。

有線LAN

LAN ケーブルで接続する

ルータ・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。

無線LAN

無線 LAN で接続する

無線 LAN アクセスポイントに本製品を無線でつなぎます。

最新ドライバがサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。ただし、サポートサイト上のドライバに付属のソフトウェアは含まれません。付属のソフトウェアは CD-ROM からインストールしてください。CD-ROM ドライブ搭載（外付け可）のパソコンをお持ちでない場合は、付属のソフトウェアをご利用いただけません。

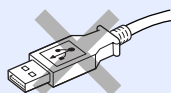
USB 接続（Windows® の場合）

ドライバとソフトウェアをインストールする

注意

- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」のすべての設定が完了していることをご確認ください。
- 市販のセキュリティソフトをお使いの場合は、インストールが正常に行われない可能性があります。インストールする前に、セキュリティソフトを一時的に停止させておくことをお勧めします。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- MFC-935CDN/935CDWN は、本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になれます。その場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

注意

- USB ケーブルは、まだ接続しないでください。

1 パソコンの電源を入れる

Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインします。

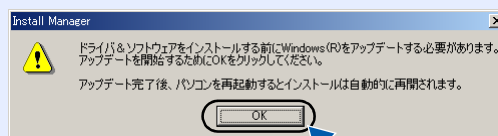
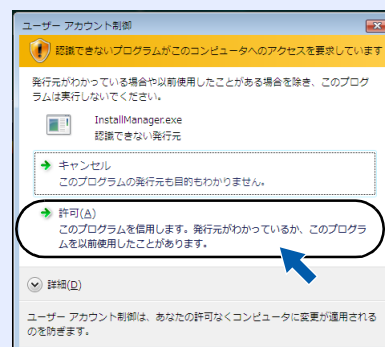
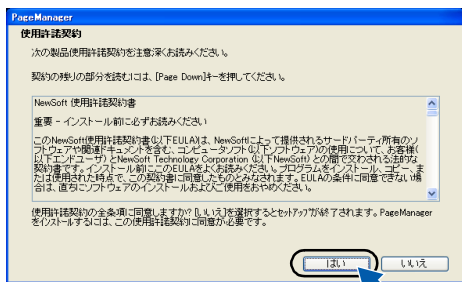
2 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

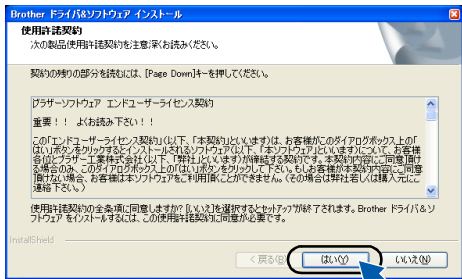
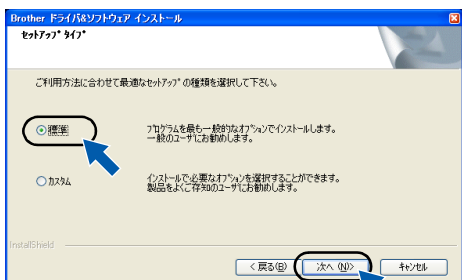
「トップメニュー」画面が表示されます。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

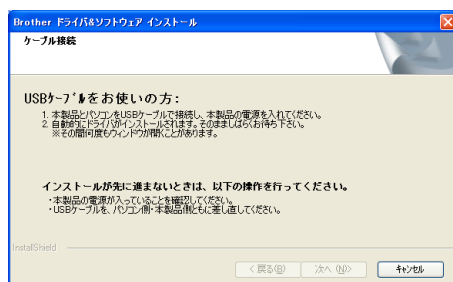
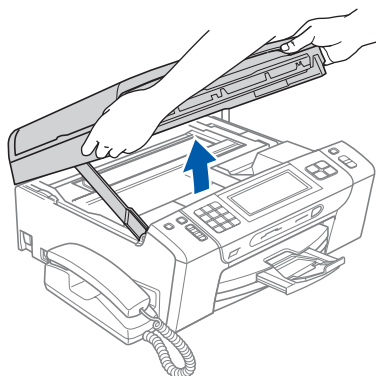
3 「インストール」をクリックする

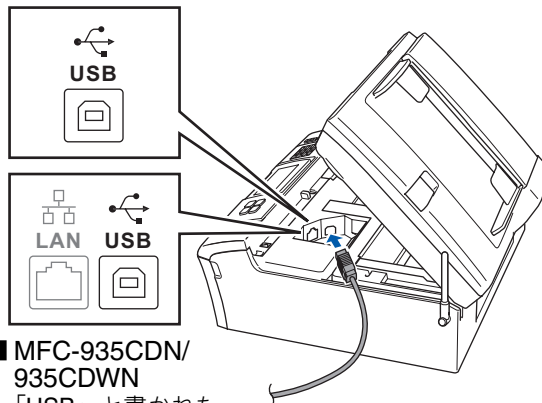
注意

- 以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックし、Windows® をアップデートしてください。パソコンを再起動すると、インストールは自動的に再開されます。

- Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

4 Presto! PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto! PageManager がインストールされます。Presto! PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

5 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする

6 MFC-735CD/735CDW は「標準」、MFC-935CDN/935CDWN は「USB ケーブル」を選び、［次へ］をクリックする

■ MFC-735CD/735CDW

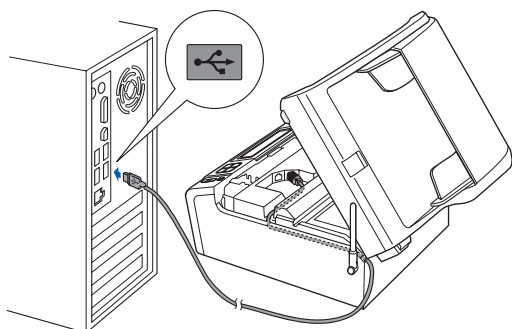
■ MFC-935CDN/935CDWN

7 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続する

(1) 両手で本体カバーを開いて、本体カバーサポートでしっかり固定される位置まで持ち上げる

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

■ MFC-735CD/735CDW

■ MFC-935CDN/935CDWN

「USB」と書かれた USB ケーブル接続端子に接続します。

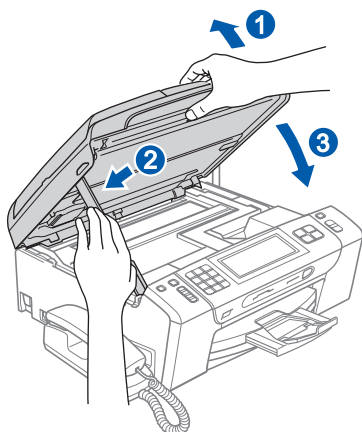
(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

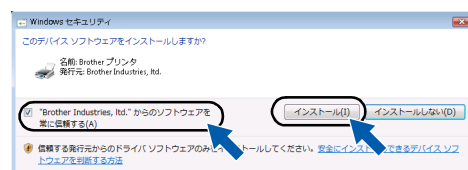
■ パソコンと本製品はUSBケーブルで直接接続してください。パソコン本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。

(4) 本体カバーを閉じる

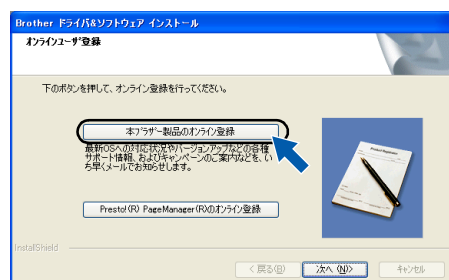
本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し ❶ 、本体カバーサポートをゆっくり押して ❷ 、本体カバーを閉じます ❸。

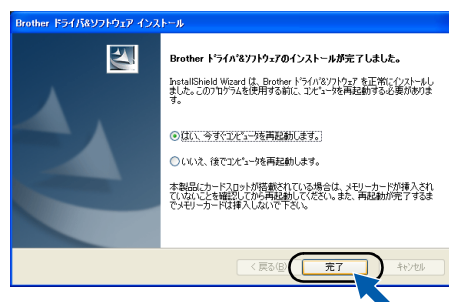
⚠ 注意

● 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、本体カバーを閉じてください。けがの原因となります。

インストールが自動的に開始されます。
インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、ユーザー登録画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

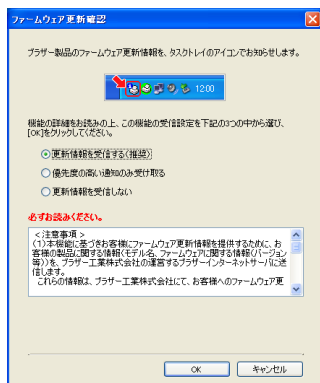
Windows Vista® をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

インストールが開始されない場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから、本製品側、パソコン側の両方の USB ケーブルを接続し直してください。
それでもインストールが開始されない場合は、［キャンセル］をクリックして修復インストールを行ってください。
⇒ 31 ページ「ドライバがうまくインストールできないときは」

8 ユーザー登録をする

ユーザー登録をする場合は［本ブラザー製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。
あとでユーザー登録をする場合はこのまま手順 9 に進みます。

9 ［次へ］をクリックする

10 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」または「管理者権限」でログインしてください。

11 ファームウェアの更新に関する設定をする

以下の画面が表示されたら、内容を確認して、ファームウェア更新機能の設定を行ってください。

インストールが完了しました。

インストールの際にエラーメッセージが表示されたときは、「インストール診断ツール」を使って、正しくインストールできたか確認してください。「インストール診断ツール」は、スタートメニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] ─ [Brother] ─ [MFC-XXXX*] ─ [インストール診断ツール] を選ぶと起動します。
*「XXXX」はモデルの型式名です。

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista® 専用のプリンタドライバです。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバがうまくインストールできないときは

ドライバを手順通りにインストールできなかった場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から [カスタムインストール] ─ [修復インストール] をクリックして、再度インストールし直してください。

Presto! PageManager がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから [すべてのプログラム（プログラム）] ─ [Brother] ─ [MFC-XXXX*] ─ [アンインストール] の順に選択し、画面の指示に従ってください。
*「XXXX」はモデルの型式名です。

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。引き続き、「FaceFilter Studio をインストールする」へ進みます。

FaceFilter Studio をインストールする（32 ページ）

FaceFilter Studio をインストールする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion, Inc のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。

注意

- 管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。
- FaceFilter Studio をはじめて起動する前に、以下のことを確認してください。
  - ・ドライバやソフトウェアのインストールが完了していること。
  - ・本製品の電源が入っていること。
  - ・本製品とパソコンが接続されていること。
- Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008 を使用している場合は、FaceFilter Studio はご利用になれません。

1 「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックしたあと、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 ［FaceFilter Studio］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

FaceFilter Studioのインストールが終了しました。

FaceFilter Studio の使いかたについて

FaceFilter Studio を使ってふちなし印刷などをする方法については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンタ」－「プリンタ（Windows®）」－「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

FaceFilter Studio がうまくインストールできないときは、一度アンインストールをしてから、再度インストールし直してください。

BookScan&Whiteboard Suiteをインストールする

BookScan&Whiteboard Suite は、以下の 2 つの機能を持った Reallusion, Inc のソフトウェアです。

- スキャン画像の補正
  スキャンした本の画像の影や傾きを自動補正します。
- ホワイトボードの画像化
  デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正します。

注意

- ■ 管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。
- ■ このソフトウェアは、インストールの際にインターネットへの接続が必要です。
- ■ 本製品の電源を入れ、パソコンに接続した状態でインストールを行ってください。また、パソコンがインターネットに接続できることを確認してください。
- ■ Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008 を使用している場合は、BookScan&Whiteboard Suite はご利用になれません。

1 「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックする

トップメニューが表示されます。

画面が表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックしたあと、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 「トップメニュー」画面の［その他ソフトウェア］をクリックする

3 ［BookScan&Whiteboard Suite］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

BookScan&Whiteboard Suite のインストールが終了しました。

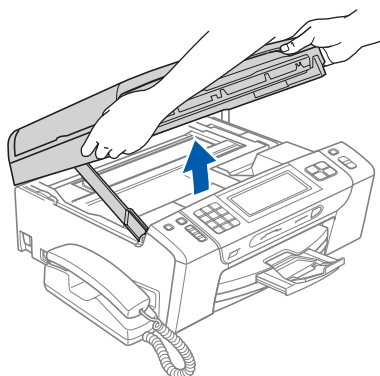
USB 接続（Macintosh の場合）

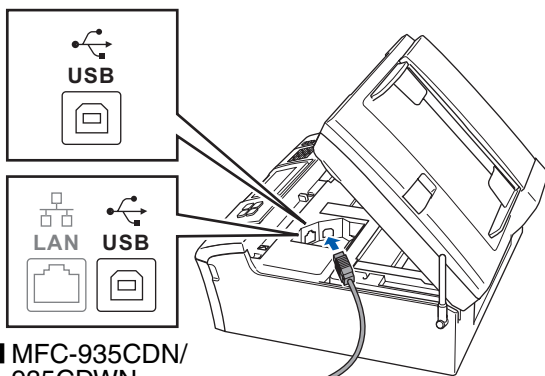
ドライバとソフトウェアをインストールする

注意

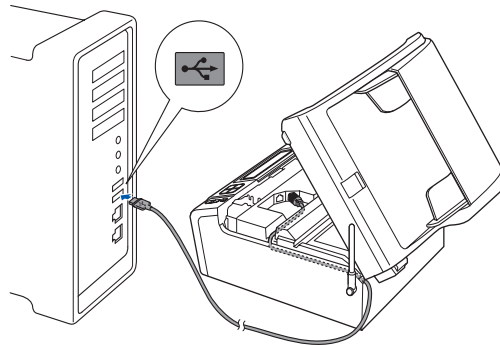
- インストールをする前に、「Step1　設置・接続する」が終わっていることをご確認ください。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
- 起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてからインストールを始めてください。
- MFC-935CDN/935CDWN は、本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になれます。その場合は、手順に従って両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルをまとめて積み上げ、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

1 本製品と Macintosh を USB ケーブルで接続する

(1) 両手で本体カバーを開いて、本体カバーサポートでしっかり固定される位置まで持ち上げる

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

■ MFC-735CD/735CDW

■ MFC-935CDN/935CDWN
「USB」と書かれたUSB ケーブル接続端子に接続します。

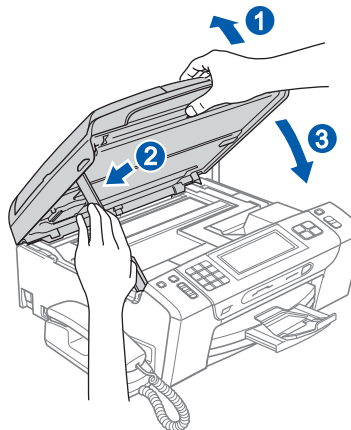
(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、Macintosh に USB ケーブルを接続する

カバーを閉じる際、ケーブルが邪魔にならないようにします。

注意

- Macintosh と本製品は USB ケーブルで直接接続してください。Macintosh 本体以外の USB ポートや USB ハブなどを経由して接続しないでください。

(4) 本体カバーを閉じる

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し ❶、本体カバーサポートをゆっくり押して ❷、本体カバーを閉じます ❸。

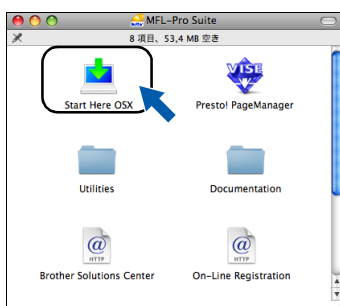
⚠ 注意

- 本体カバーを閉じるときは、手をはさまないように注意して、本体カバーを閉じてください。けがの原因となります。

2 Macintosh の電源を入れる

Macintosh の管理者権限を持っているユーザーでログインしてください。

3 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

4 「Start Here OSX」をダブルクリックする

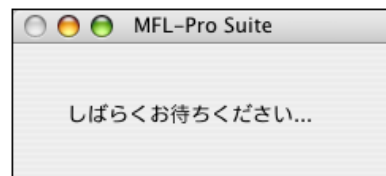
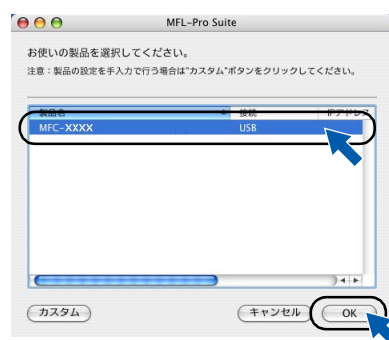
画面の指示に従って、インストールを進めてください。

⇒ MFC-735CD/735CDW は、手順 6 へ
⇒ MFC-935CDN/935CDWN は、手順 5 へ

5 「USB ケーブル」を選び、［次へ］をクリックする

※ MFC-735CD/735CDW は、この画面は表示されません。

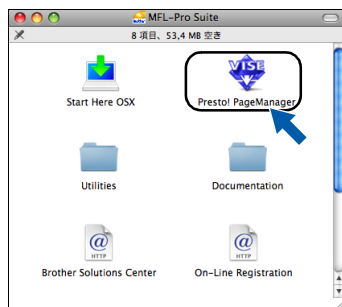
6 インストールが終わって Macintosh の再起動を促す画面が表示されたら、Macintosh を再起動する

再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

> 再起動後、本製品を自動的に検索します。しばらくお待ちください。
>
>
>

7 本製品を選んで、［OK］をクリックする

8 以下の画面が表示されたら、［OK］をクリックする

ドライバのインストールが終了しました。
続けて、Presto! PageManager をインストールする場合は、手順 9 に進みます。

❾ 「Presto! PageManager」をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。

Presto! PageManager について

Presto! PageManager をインストールすると ControlCenter2 に OCR 機能が追加され、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

オンラインユーザー登録のご案内（ブラザーマイポータルのご案内）

オンラインでのユーザー登録をお勧めします。最新のドライバやファームウェアの情報、また各種サポートやキャンペーン情報などを、いちはやくメールでお知らせします。（https://myportal.brother.co.jp/）

ドライバとソフトウェアのインストールは終了しました。

CD-ROM の内容

付属の CD-ROM をセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

Windows®

インストール
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために Presto! PageManager や ControlCenter3 などのソフトウェアもインストールします。

画面で見るマニュアル
「画面で見るマニュアル」（HTML 形式）がパソコン上で閲覧、印刷できます。

カスタムインストール
プリンタドライバだけなど、必要なソフトのみを個別にインストールすることができます。 さらに MFC-935CDN/935CDWN は、ネットワークプリンタのドライバやネットワークユーティリティのインストールができます。また、本製品の無線 LAN を設定することができます。 ドライバのインストールがうまくいかなかった場合に行う「修復インストール」も用意されています。 ※ 修復インストールは、USB ケーブルで接続している場合にのみ使用できます。

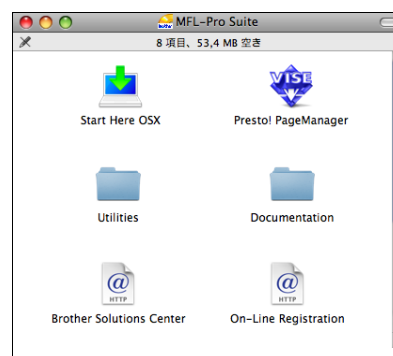
その他ソフトウェア

- **FaceFilter Studio**
  写真を簡単にふちなし印刷できます。また、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情を変化させることもできるソフトウェアです。
- **BookScan&Whiteboard Suite**
  スキャンした本の画像の影を除去したり、デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正できるソフトウェアです。
- **NewSoft® Presto! Image Folio**
  画像を編集できるソフトウェアです。

サービスとサポート

- **ブラザーホームページ**
  ブラザーのホームページへリンクします。
- **ソリューションセンター**
  インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
- **ブラザーダイレクトクラブ**
  インクカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
- **消耗品情報**
  ブラザー純正の消耗品などの購入について案内しているサイトへリンクします。
- **マイミーオ・オープンテラス**
  無料でダウンロードできる各種コンテンツや、イベント・キャンペーン情報などを取り揃えたマイミーオのスペシャルサイトへリンクします。

オンラインユーザー登録
オンラインでユーザー登録を行います。

Macintosh

Start Here OSX
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。

Presto! PageManager
TWAIN 準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。

Utilities
Presto! PageManager のアンインストーラが用意されています。 ■ **MFC-935CDN/935CDWN のみ** 無線 LAN 設定ウィザードが用意されています。

Documentation
画面で見るマニュアル（HTML 形式）が Macintosh 上で閲覧、印刷できます。

Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。

On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。

使用環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、次のパソコン環境が必要になります。また、最新のドライバ対応状況についてはブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/）でご確認いただけます。

Windows® の場合

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU/ システムメモリ</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェース</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th></tr>
<tr><th>ドライバ</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td>Windows® 2000 Professional</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサ相当またはそれ以上
/64MB（推奨 256MB）以上</td><td rowspan="3">110MB</td><td rowspan="3">340MB</td><td rowspan="4">USB2.0 ハイスピード、
有線[*1]
（10BASE-T/ 100BASE-TX）、
無線[*1]
（IEEE802.11b/g）</td><td rowspan="4">プリンタ、
スキャン、
PC-FAX 送信･受信、
フォトメディアキャプチャ、
リモートセットアップ、
ControlCenter3</td></tr>
<tr><td>Windows® XP</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサ相当またはそれ以上
/128MB（推奨 256MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition</td><td>64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当またはそれ以上
64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/512MB（推奨 1GB）以上</td><td>600MB</td><td>530MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサ相当またはそれ以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td><td rowspan="3">50MB</td><td rowspan="3">–</td><td rowspan="3">有線[*1]
（10BASE-T/ 100BASE-TX）、
無線[*1]
（IEEE802.11b/g）</td><td rowspan="3">ネットワーク接続によるプリンタ</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition</td><td>64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/256MB（推奨 512MB）以上</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当またはそれ以上
64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）以上
/512MB（推奨 2GB）以上</td></tr>
</table>

[*1] MFC-935CDN/935CDWN のみ

- CD-ROM ドライブが必要です。
- Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以上が必要です。（Microsoft® Internet Explorer® 6 以上を推奨します。）
- LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh の場合

本製品と Macintosh を接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU/ システムメモリ</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェース</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th></tr>
<tr><th>ドライバ</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.3</td><td>PowerPC G4/G5、PowerPC G3 350MHz 以上 /128MB（推奨 256MB）以上</td><td rowspan="2">80MB</td><td rowspan="2">400MB</td><td rowspan="2">USB2.0 ハイスピード、有線 [*1]（10BASE-T/ 100BASE-TX）、無線 [*1]（IEEE802.11b/g）</td><td rowspan="2">プリンタ、スキャン、PC-FAX 送信、フォトメディアキャプチャ、リモートセットアップ、ControlCenter2</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.4.4 ～ 10.5.x</td><td>PowerPC G4/G5、Intel® Core™ processor /512MB（推奨 1GB）以上</td></tr>
</table>

[*1] MFC-935CDN/935CDWN のみ

- CD-ROM ドライブが必要です。
- LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社のサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にて最新の情報を公開しています。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使用するための準備が終了しました。本製品をお使いいただくときは、目的に合わせて必要なユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。

「ユーザーズガイド 基本編」（冊子）

- ご使用の前に
- 電話
- ファクス
- 電話帳
- 留守番機能
- コピー
- フォトメディアキャプチャ
- こんなときは

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

- プリンタ
- スキャナ
- PC-FAX
- フォトメディアキャプチャ
- リモートセットアップ
- ControlCenter

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROM に収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows® の場合

パソコンにドライバをインストールすると、「画面で見るマニュアル」が自動的にインストールされ、デスクトップにショートカット が作成されます。

をクリックする、または［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX*］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選ぶと閲覧できます。

*「XXXX」はモデルの型式名です。

CD-ROM から閲覧したいときは、以下の手順で操作します。

(1) 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

◆ トップメニューが表示されます。

(2) 「画面で見るマニュアル」をクリックする

(3) 「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」をクリックする

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

Macintosh の場合

(1) 付属の CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

(2) 「Documentation」をダブルクリックする

(3) 「top.html」をダブルクリックする

◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system です。
Windows Server® 2008 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion Inc. の登録商標です。
Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）は、ブラザーの純正消耗品の新シリーズです。イノベラの名前は、イノベーション（innovation.「革新的」）とベラ（Bella・イタリア語で「美しい」）の2つの言葉に由来しています。　革新的な印刷技術により美しく鮮やかな高品質の印刷を実現します。写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」をお勧めします。イノベラインクとあわせてお使い頂ければ、鮮やかでキメの細かい発色、つややかな仕上がりの超高画質の写真プリントを実現します。また、安定した印刷品質の維持のためにも、イノベラインク・イノベラ写真光沢紙、およびブラザー純正の専用紙のご使用をお勧めします。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK
イエロー（黄）	LC11Y
シアン（青）	LC11C
マゼンタ（赤）	LC11M
4個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各1個］	LC11-4PK
黒2個パック［ブラック（黒）2個］	LC11BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20枚入り
		BP71GLJ50（L判）	50枚入り
		BP71GLJ100（L判）	100枚入り
		BP71GLJ300（L判）	300枚入り
		BP71GLJ500（L判）	500枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25枚入り

- OHPフィルムは、住友スリーエム社製OHPフィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1